

武雄市議会だより (Web版) 始めました

栄八通信

http://ei-8.info/

第79号

市民に朗報

武雄工業用水(30年間) 杵島工業用水との統合

私が旧武雄市から議員をさせてもらって、やらなければならぬ仕事の一つに、工業用水道事業の今後の道すじをつける責任がある。昭和61年から5年間かけて、H6年に西川登町に矢筈ダムがつくられ、川登地区の水道水と、工業用水が目的だった。その工業用水は、西川登町でくみ上げ東川登町の(第三浄水場)で処理し、上西山↓川良(配置池)↓朝日から若木まで送水し、若木の県営武雄工業団地まで、遠々と送る形で、南北20kmの配管がされている。

若木の工業団地の8社中4社が利用しているが、1日最大供給能力2325m³に対し使用は、250m³程度で、約1割しか利用がない状況。私は、H7年に議員になったが、当時から、ダムの権利・設備の起債の返済など、毎年、約5000万円を一般会計から補填の為に繰入れがされてきた。

議員としても、売上げを増すために、給水地区が武雄工業団地のみだったので、広げる様に提案したが、さらに拡大して失敗するのを心配したのか、拡大されず、たクリンセンターに雑用水として送水する事は実現した。また、高利子起債の低利借替はできた。しかし、毎年5千万円の補填は、続いていた。

それが、あと2〜3年で払い終わる見通し、ざっと計算すると、H6年からR4年まで28年間で15億円程度、市民の税金を投入してき



たことになる。だが、借金が終わると同時に現有設備の更新が必要になってくる。再度、1割しか利用のない工業用水事業をどうするかの問題が出てくる。特に武雄の工業は、北の若木の工業団地に、南の西川登から送水する非効率な状況で、配管を全て布設替えを実施し、また膨大な工事費を使う事は避けたい。

そこで、数年前より、江北・大町・旧北方町に給水していた、杵島工業用水との統合もしくは、水源を若木の本部ダムに切り替えて配管の距離を短くする方法などを提案してきている。

今議会、改めて、杵島工業用水との統合の話合いの状況を探ねると、令和4年の4月より、統合が合意されたとの答弁で、10数年の肩の荷が降りた。

今後、北方町で本管を接続し、ポンプで若木に送る。現在の管は朝日町で切り離す予定。



武雄市議会議員 山本 栄八
TEL・FAX 23-07550
携帯 090-5083-0793

R7年 競輪場リニューアル 選手宿舎・管理棟

競輪場は、4年前に、東側の車券発売所と鉄骨スタンドを、冷暖房完備のメインスタンドにリニューアルして、ナイター等も可能にした。それがコロナ禍で収益の落ち込み緩和に役立つ。

一方、その反対側にある大型の建物2棟が特観席という有料の観客席で、以前は花形の施設だったが、近年の電話やネット販売で、全国的に客もまばらな

状況。メインスタンド完成後は、記念競輪等特に客が多い時のみ開けていた。

先の熊本地震では、熊本競輪の特観席が大きな被害を受けたが、前方に柱がなく、全面ガラス張りの為で、耐震への心配もあつた。

今回、それを全部解体して、その場所に、女子競輪の増加や老朽化の為に4階建て30室の選手宿舎と選手管理棟①に、自転車検査場と選手控室、管理棟②に出発控室と記者室を作る計画が示された。

時期は、R7年に特観席の解体R8〜11の4年間をかけて整備する予定。ちなみにR7年は大阪万博で、その後のため、しばらく先の話になる。

一方数年前から計画検討はあつていて、当初鉄筋6階建て1棟にするような話だったが、費用が多額になる事や、近くに水路があり、地盤の問題で、今回の鉄骨造に変更した模様だが、現在、予定金額に示されていないので、今後比較を市民に伝えていきたい。

パソナ44400台更新とGIGA(ギガ)スクール

GIGA(ギガ)スクール構想という文科省が打ち出した、全国小中学校生に1人1台の端末(パソナ・タブレット)の整備を2019年〜23年までの5年間で行う計画を始めていた。

ところがコロナ対策で、安倍首相が今R2年度に前倒しを決定した。また、これまでは、地方交付税への算入と分かれていたが、取り組みはあまり進んでいなかった。

今回、国はパソコ1台の金額を4万5千円を上限に、その1/2を補助金で出すことになり、大きく動いてきた。

一方、武雄市は、H25年から、H29年にかけて独自に約3億8千万円かけて、既に1人1台整備しているが、今回、全小中学校の全てを交換する方針。

その理由は、今回、国は、キープド付きを想定していて、それ

には買い替えが必要とのこと。以前の導入の時は、ネットに今も上がっているが、機種選定の過程の不透明さや疑惑、また恵安タブレットの不具合多発などあつた。

今回は、一般競争入札を行い、2社参加で、学映システムが4400台(教師用も含む)を、1台41900円(税抜)で応札。

一方、県が共同入札も打ち出して佐賀市などが参加、どちらが良い選択をしたか検証してみたい。

【これからの課題として】

学校のパソコン更新は、コロナ対策のための休校時の遠隔授業のためと思われるかもしれないが、元々GIGAスクールが始まったのは、コロナ前で、その目的はいわゆる子供の個に応じた学びの最適化。(自発的な学習)

どさくさ一面判断多い 新幹線問題・山口知事が正論

R4年秋に長崎新幹線の武雄温泉〜長崎間の開業が発表された。今後は、フリーゲージ断面後の博多間の対策が必要になる。

与党プロジェクトの意向を受けて、国交省は、フル規格での整備を佐賀県に認めさせようとしている。一方、県知事は①多額の地方負担 ②在来線の3セク化などの不明な点や、今までフルやミニ新幹線について話し合った事がないとして、フル規格を拒否する。

私自身は、山口知事が正論として判断を高く評価している。

本来ならば、R4年にはフリーゲージトレイン(FGT)で、大阪まで行けたのが、R4リレー方式の暫定開業になったのは、FGTを国がちゃんとした説明もなく、責任を果たさず、急に断念したのが原因。

一方、フル推進の人は、大阪まで行くの乗り換えなしで行けることを重視している。しかし、九州新幹線(鹿児島ルート)は、ほとんどが博多止まりのつばめで、多くの客は、博多が目的地。

だから、長崎からいかに博多に早く着くかの対策が重要になる。当面リレー方式になるので、長崎から武雄温泉までフルで来て対面乗り換えを1〜2分分としてノンストップで博多まで行くなど色々なアイデアで、特急のスピードアップを考える一方、急がず武雄で降りてもらう手立ても必要。

私の考えとしては、将来的には秋田のミニ新幹線E6系を導入すれば、在来線を廃止せず、しかも博多で320km/hのぞみに連結すれば、フルのみずほまで280kmで行けると大差ないと思つている。しかも費用は国が、FGTの不履行として負担を。

コロナ対策 第2弾 6億円

前のコロナ対策国の1兆円の武雄市分が、2億円プレミアム商品券などを行った。今回の第2弾は国の2兆円で、市には4億円とあつていたのでなせか6億円と説明すると、2億円程度も温存し、4億円程度を活用。

そのうちGIGAスクールのパソコンや電子黒板などで2億5千万円を使い、コロナの感染対策関係で1億5千万円程度を使用。

その内容については、企画が各課から提案を出してもらい調整。主なものとして、住民票のコンビニ交付。公園のトイレの水洗化。集団健康診断用のテント・それに、経済対策として、「GOTO・武雄」キャンペーン事業として市内宿泊1泊につき5000円のクーポン券、私としてはもっと経済対策が必要と思う。

市民は知らないと思う アセット計画の内容

武雄市公共施設総合管理計画でH28年市有の施設を、人口減に合せて、40年間で30%、10年間で8%の削減をする計画で、その10年間の実施策を個別施設計画(アセット計画)として、今8月に公表。ネットや公民館に計画書を置いて、2週間程度、パブリックコメント(意見募集)があったが、ほとんどの市民は、関心がないというより、ちゃんとした広報や説明がない、そんなものがあるかを知らない状況。

しかも、10年の計画期間はH28年から、前期と後期に分けて計画してあるが、前期はR3年までで、あと1年のところで計画を公表して、スピード感を疑う。

本来は、市の将来に関する事なので、各町で市民説明会や意見交換会でもやる必要があると思う。

児童クラブの環境 武雄小も意見を聞いてから

子育て教育に力を入れている武雄市にあって、腑に落ちないのが、児童クラブの処遇。

武雄小児童クラブは、現在旧武雄保育所の建物を利用して、武雄小の大規模改造の前は、御船小との分離前の空教室が多数あり、そこを専用区域として利用していた。

一方、今回のアセット計画では旧保育所の老朽化のため、武雄小学校の「空きスペース」を利用する」との方針を出している、前期実施(R3年)なので、唐突で早急な話である。

ただ、不思議なことに、本来のアセットの目的は、建物の存廃の計画なのに、その廃止や解体は示されず、中を利用して児童クラブを集約する本末転倒した記述がされている。

一方、内容は、個別計画と言いつながら、抽象的な記述も多い。そこでR3年までの(前期)実施の事業を紹介しよう。

- 朝日公民館の移転替え、北方公民館・文化ホール水害後整備。
- 朝日小職員室の拡大。
- 山内東小の屋根の改修。
- 武雄小児童クラブを学校に集約。
- 勤労者福祉会館(小楠)を除去処分し、文化会館エリアに集約。
- 以前に先行して発表されたスポーツ編には、白岩相撲場の廃止などがある。
- ちなみに、後期R4・8年には、文化会館の小ホール廃止
- 各学校のプール改修
- 昭和・天神区公民館の移譲
- 文化会館大ホールの耐震化工事
- リサイクルセンターの民営化等

白岩競技場の 駐車場と相撲場の

今後、白岩運動公園は、野球場が東川登町に移転し、新体育館が作られ弓道場は残る。一方、高段にある競技場(トラック)や運動広場(現状ソフトボール)は特に整備はされない計画。

一方変るの統合は、相撲場で、北方の相撲場との統合で、R3年には廃止し、駐車場として活用するとアセット計画に記述してある。

確かに、白岩の高段については、ちゃんとした駐車場がなく、以前大会などの時、弁当を持って長い階段を上がられていた光景も見えた。

そんなこともあってか、高段への駐車場確保の要望はあり、その実現は良いと思う。ただ、相撲場を廃止する前に、日時計広場を駐車場として整備する方が先と思いい、今議会に一般質問をした。

市の答えとしては、①階段からの歩行者の安全の問題。②下段の駐車場を利用してもらう。③2点ただ、相撲場の廃止は、私から見れば、関係者と十分に話し合われて決定されていないので難航も予想されるし、下段の駐車場があまりにも遠いので、上段への駐車場が求められている本末転倒な論理になっていると思う。

日時計も老朽化し、タイヤも剥がれて危険な状況が今後予想され、今回、歩行者と通路を分離し、安全対策をして、駐車場の確保に活用すべきと思うが、市民の方はどう思われますか?



日時計広場の整備を

水道料金 100円下げ

佐賀西部広域水道に統合されて、特に問題はない状況と思う。

統合前には、40年間の料金シミュレーションが出されていた。3年間は、現状でいくとの方針は説明を受けた。

しかし、6月議会で、統合料金は、令和16年から、約15年も先の話でびっくり。

武雄市は1㎡当り現在223円で統合計画ではR7年に215円、R12年に210円でR17年には今より高い、231円になり、約10年間のメリットがなくなるので、4年後からの統合料金にするように西部に意見すべきではと質問した。

市は、西部は4年後から、武雄市については、20㎡当り100円程度下げとの報告。

た1㎡当り5円なのでR12年の210円の差10円なので、20㎡200円下げてもらう必要がある。

市	料金 20㎡
鳥栖	2,430
鹿島	2,592
嬉野	2,910
小城	2,970
小佐賀	3,110
唐津	3,240
多久	3,420
伊万里	3,780
神埼	4,104
武雄	

防災個別受信機 市長の謝罪と原因

新聞報道にも出たが、防災個別受信機整備に関する市長の謝罪。何が原因かといえは、2ヶ年間で約6億円も支出する内容が、ほとんど説明無しに、先行して朝日町に設置されて、一体どうなっているのか?との疑問から。

この事業は、外に立つ防災無線が、風で聞こえないことから、家庭内受信機を希望家庭に無料で貸し出すもの。今回の問題は、契約案件を議会になぜかけないとの批判。当初はかけるようにしてあったが、事業の名称が、防災システム構築なので、財産の購入でないとの、議会承認は、いらないと市の顧問弁護士と相談して決めたので問題ないと判断と繰り返して、無線でなく有線なのか。今、若木町や西川登町に整備している個別受信機は個人負担もあっている。

武雄市の進める「花まる学園」の今後

官民一体型学校

花まる学園は、H27年より朝自習の時間を活用して、ゲーム形式の学習を地域の丸つけボランティアの協力を受けながら、今R2年御船ヶ丘小の実施で、市立小学校11校ですべてが取り組んだ。

そこで、一般質問で、授業への導入や中学校への拡大など、今後の展開や予定を尋ねた。

教育長は、半分の5年が経ったので、花まるの改善検討委員会で話し合ってもらおうとの答え。

今回の答えで、計画期間が10年で、検討委員会があることも初めて知った。また、最近、武雄公民館からの資料で、実施主体の、各町地域学校協働本部の上に、武雄市学校協働本部があることも知ったが、会長はなく、予算もないのに驚く。

他議員の質問で、私も知らないことがあった。小学校のトイレの洋式化が遅れていて、一部のトイレに集中し、児童が不便な思いをしているとの話。確かに、子ども達の声が行政に反映しているかといえは、疑問に思う。

市は、まずは実態調査に入るとの答えだった。

小学校のトイレ洋式化

の設置だが、どうなるのか等。有線になったのはプロポーザル入札での総合判断とのこと。現在の受信機は、耐用年数の10年を過ぎているとの説明。しかし、問題になってからの説明でなく、当初より説明がやはり必要だった。

近くでは、嬉野市は無線方式で、鹿島市は有線方式で、鹿島市は今のケールを利用して、費用を安く抑えるのが選定の理由。

一方、市は別に、スマホに送信するアプリも整備中で、それなら若者家庭など、わざわざ部屋に受信機を置く必要はないので、そろそろ早期に実施が大切と思う。

一方、今回の件で、6億円のほとんどは、受信機と工事代で、システム構築費は少ないのに、システム構築といえは、議会の承認は、いらぬの弁護士の判断には疑問。

他議員の質問で、武雄のハブ都市化に関する質問と思うが、佐世保・松浦・伊万里・有田まで来てはどうか?との主旨の質問があつて、市長は推進するような答弁。

松浦鉄道MRの 武雄乗り入れ

ただ、MRに加入すれば、3セクの赤字の負担を武雄市も求められる。利用者の多くは、その市内の移動に利用され、観光利用は少ない。その上でもハブ都市に必要な判断。